

第1回連絡会での主なご意見

参加者の皆様から、多様なご意見をいただきました！

この50年の地域の変化

短期で出て行ってしまいう方も多いため、自治会活動への参加意識が希薄になっている

小学校が廃校になっている

住民の高齢化が進んでいる

商店がだんだん減ってきている

高島平地域のブランド

道路、公園、緑地、地下鉄などの都市の基盤整備が充実していることが地価をあげることにつながる

区のホールなどの公共施設がどのようになるかが重要になってくる

高島平地域の住民も多様化してきており、高島平ブランドの再構築が必要

建物の老朽化

住民の高齢化と建物の老朽化のそれぞれにうまく対応できる方法があるといい

大規模団地の更新にあたっては、一団地認定^{※3}の手続きが必要である

※1：ARとは「Augmented Reality」の略で、日本語に訳すと「拡張現実」。実際の風景に新しい視覚情報を付加し、現実の世界を仮想的に拡張する技術。

※2：VRとは、「Virtual Reality」の略で、「仮想現実」とも呼ばれる。専用のゴーグルで人間の視界を覆うように360°の映像を映すことで、実際にその空間にいるような感覚を得られる技術。

※3：一団地認定とは、一団地の土地を一つの敷地とみなして建築規制を緩和適用するための、特定行政庁の認定をいう。建築基準法に基づく制度。

まちづくりの進め方

次の世代の人たちにも参加してもらいたい

他の地域の成功事例などを参考にして進めてほしい

分譲団地居住者・賃貸団地居住者の意見の違いに配慮してほしい

住民との話し合い・情報共有が大事である

情報発信

AR^{※1}やVR^{※2}で情報の見える化を行い、まちがこのように変わっていくということを示してほしい

これからの高島平

高島平地域は転換期にきているので、適切なまちづくりを進めていく必要がある

交流核については具体的な提案がほしい

高齢者に優しいまちづくりをしてもらいたい

商業施設を充実させてほしい

都営三田線の延長をしないと人が集まってこない

おじいさんおばあさん、お父さんお母さん、孫と、多世代がつながり、コミュニティが循環するような地域にしてほしい。そうした対策を考えてまちづくりをしないと50年後にまた同じ課題を抱えることとなる

高島平地域まちづくりのお知らせ(かわら版)



まちづくり連絡会について

まちづくり連絡会の活動が始まりました！

高島平地域のめざす将来像の実現に向けたまちづくりのあり方や具体化方策について、板橋区及びUR都市機構が、地域の皆様と情報共有や意見交換をすることを目的に設置いたしました。

●検討内容

- ・まちづくりの起点となる重点地区と交流核形成の適切なあり方
- ・地区計画策定に関すること
- ・情報周知の方法に関すること など

●構成

- ・高島平地域の町会長・自治会長
- ・高島平三丁目分譲団地の各管理組合の理事長
- ・町会長・自治会長から推薦された方（予定）
- ・公募により選任された方（予定）

連絡会開催報告

第1回まちづくり連絡会を開催しました！

日時：令和4年7月20日（水） 午後7時～午後8時
 場所：UR高島平団地内集会所（高島平2-32-2）
 参加者：12名

第1回連絡会では、板橋区及びUR都市機構から、まちづくりの経緯や連絡会の設置目的、まちづくりの対象区域などについて説明したうえで、「まちづくりのあり方について」「まちづくりの方向性」などについて意見交換を行いました。当日の説明内容は、2～3ページに掲載しています。



第1回連絡会での板橋区・UR都市機構からの説明内容 まちづくりの経緯や対象区域などについて共有しました！

まちづくりの経緯

●かつての徳丸ヶ原

・団地建設前は、辺り一面に田園風景が広がっていました。昭和初期まで、都内で生産される米の約7割を生産する、東京屈指の米どころでした。



※板橋区郷土資料館より

●昭和40年代以降の高島平

・昭和41年からの土地区画整理事業を土台に、道路、公園、緑地、地下鉄などの都市基盤が整備され、住宅団地や学校施設などが計画的に建設されました。



※板橋区郷土資料館より

●現在の高島平

・緑豊かなオープンスペースや整った道路網などの地域資源に恵まれる一方で、同時期に多くの建物が建てられ、居住者が一斉に入居したという特性から、建物の高経年化や急速な少子高齢化という課題を抱えることになり、都市再生が求められるようになりました。



板橋区とUR都市機構の取組経緯

板橋区の取組

平成27年10月
「高島平地域ランドデザイン」策定
令和4年2月
「高島平地域都市再生実施計画」策定

UR都市機構の取組

平成30年12月
「UR賃貸住宅
ストック活用・再生ビジョン」策定

板橋区+UR都市機構の取組

令和4年3月
板橋区とUR都市機構の間で「高島平地域の連鎖的都市再生の推進に係る基本合意書」締結

高島平地域交流核形成まちづくりプランの検討(令和4~5年度)

まちづくりの対象区域

令和4年度から5年度にかけて、板橋区とUR都市機構が共同で「交流核」の形成に向けたまちづくりの展開を検討していきます！



重点地区
高島平地域全体の都市再生を効果的・効率的に進めるための第一歩となるエリア

交流核エリア
高七小跡地などの公共用地を起点に都市再生を展開し、地域内外の交流の中心となる「交流核」を形成していくエリア

まちづくり連絡会の開催予定

